

日本地震学会 2020 年度秋季大会

日程 2020年10月29日(木)～31日(土)

会場 オンライン

【大会会場サイト】 <https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2020/top>

【A会場・B会場・C会場・D会場】 各オンライン会議室

【授賞式および記念講演】 A会場

【ポスター会場】 ポスター掲載サイト

【団体展示】 企業展示サイト

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月29日 (木)	09:00～12:00	S20. 授賞式および記念講演 (A会場)			
	13:00～15:30	S15. 強震動・地震災害	S12. 岩石実験・岩石力学・ 地殻応力 S09. 地震活動とその物理	S06. 地殻構造	S01. 地震の理論・ 解析法
	16:00～17:00	学生優秀発表賞 (ポスター発表) 審査セッション			
10月30日 (金)	09:00～12:00	S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤震動	S09. 地震活動とその物理	S06. 地殻構造 S04. テクトニクス S07. 地球及び惑星の内部 構造と物性 S10. 活断層・歴史地震	S01. 地震の理論・ 解析法 S23. 観測地震学の フロンティア～稠密地震 観測の未来像～
	13:00～15:30	S16. 地盤構造・地盤震動	S09. 地震活動とその物理	S10. 活断層・歴史地震 S08. 地震発生の物理	S23. 観測地震学の フロンティア～稠密地震 観測の未来像～
	16:00～17:30	ポスターセッション コアタイム (会場:ポスター掲載サイト) S01. 地震の理論・解析法, S04. テクトニクス, S06. 地殻構造, S07. 地球及び惑星の内部構造と物性, S09. 地震活動とその物理, S10. 活断層・歴史地震, S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力, S15. 強震動・地震災害, S23. 観測地震学のフロンティア～稠密地震観測の未来像～, S24. 機械学習による地震学の未来の開拓			
10月31日 (土)	09:00～12:00	S24. 機械学習による 地震学の未来の開拓 S17. 津波	S02. 地震計測・ 処理システム S19. 地震一般・その他 S18. 地震教育・地震学史 S03. 地殻変動・GNSS・ 重力	S08. 地震発生の物理	S14. 地震予知・予測 S22. 琉球弧の ジオダイナミクス
	13:00～15:15	S17. 津波	S03. 地殻変動・GNSS・ 重力	S08. 地震発生の物理	S22. 琉球弧の ジオダイナミクス
	16:00～17:30	ポスターセッション コアタイム (会場:ポスター掲載サイト) S02. 地震計測・処理システム, S03. 地殻変動・GNSS・重力, S08. 地震発生の物理, S14. 地震予知・予測, S16. 地盤構造・地盤震動, S17. 津波, S18. 地震教育・地震学史, S19. 地震一般・その他, S22. 琉球弧のジオダイナミクス			

S05, S11, S13, S21 は発表なし.

地震学会の委員会活動を紹介する「S25. 社会に対する委員会の活動」のポスターもウェブ掲載.

すべてのセッションのポスターは3日間通してウェブ掲載.

懇親会は開催されません.

10月29日(木) 口頭発表

A会場(オンライン会議室) 午前 S20. 授賞式および記念講演

学会賞講演(講演時間25分・質疑応答5分)
招待講演(講演時間17分・質疑応答3分)

座長	安藤 亮輔(東京大学)
9:00	授賞式 会長挨拶
9:04	受賞者紹介
9:41	受賞記念講演会
9:43 S20-01#	ETASモデルの進化と因果推論のモデリング *尾形 良彦(統計数理研究所)
10:13 S20-02#	物理素過程と応力場を考慮した3次元動的地震破壊過程の研究 *浦田 優美(防災科学技術研究所)
10:33 S20-03#	自然地震データに基づく応力と断層強度に関する研究 *吉田 圭佑(東北大学理学研究科地球物理学専攻・地震噴火予知研究観測センター)
10:53 S20-04#	室内岩石実験から自然地震までの架け橋を目指した地震発生環境に関する研究 *吉光 奈奈(東京大学地震研究所)
11:13 S20-05#	GNSS連続観測システム「GEONET」の進化と展望 *国土地理院 GEONETグループ(国土地理院測地観測センター、地理地殻活動研究センター)
11:33 S20-06#	定期的なGNSS-A海底地殻変動観測技術の確立と地震学への貢献 *藤田 雅之 ¹ 、松本 良浩 ¹ 、佐藤 まりこ ¹ 、石川 直史 ¹ 、渡邊 俊一 ¹ 、横田 裕輔 ² (¹ 海上保安庁海洋情報部、 ² 東京大学生産技術研究所)
11:53	総合討論

A会場(オンライン会議室) 午後 S15. 強震動・地震災害

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	福島 洋、久田 嘉章
13:00 S15-01	強力な衝撃的鉛直地震動は東北新幹線橋梁の被害に影響はないのだろうか *前原 博(地球システム総合研究所)
13:15 S15-02	1923年関東大震災の復興初期段階における東京市の被災者動向 *武村 雅之(東海国立大学機構名古屋大学減災連携研究センター)
13:30 S15-03	「理解・気づきツール」としての南海トラフ地震確率推移表の開発 *福島 洋 ¹ 、西川 友章 ² (¹ 東北大学災害科学国際研究所、 ² 京都大学防災研究所)
13:45 S15-04	統計的グリーン関数法を用いた広帯域強震動計算における中間周波数帯の振幅の落ち込みについて *久田 嘉章(工科大学)
14:00 S15-05	経験的グリーン関数法の要素地震として用いられる中小地震の破壊伝播効果に関する研究 *金田 博平 ¹ 、田中 信也 ¹ 、久田 嘉章 ² (¹ 東電設計株式会社、 ² 工学院大学建築学部 教授)
14:15	休憩
座長	津野 靖士、今井 隆太
14:30 S15-06	Hi-netを活用したIPF法の高度化 *野口 恵司 ¹ 、林元 直樹 ¹ 、溜田 功志 ² 、小寺 祐貴 ² (¹ 気象庁、 ² 気象研究所)
14:45 S15-07	2016年熊本地震と2018年北海道胆振東部地震に対するP波オンサイト早期地震警報の適用性 *津野 靖士 ¹ 、丹羽 健友 ² (¹ 鉄道総合技術研究所、 ² JR東海コンサルタンツ)
15:00 S15-08	モード分解と経験コンピュータを用いたシナリオ地震動予測地図のサンプル生成 *今井 隆太 ¹ 、賀須井 直規 ¹ 、岩城 麻子 ² 、藤原 広行 ² (¹ みずほ情報総研株式会社、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所)
15:15 S15-09	大規模数値シミュレーションによる地震発生から地震動・地盤増幅評価までの統合的予測システムの構築とその社会実装のための取組 *堀 高峰 ¹ 、市村 強 ² 、藤田 航平 ² 、縣 亮一郎 ¹ (¹ 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所)

座長	S12. 小村 健太郎/S09. 松本 聡
13:00 S12-01	大阪平野下基盤における原位置地殻応力-深層地殻活動観測井におけるポアホールブレイクアウト法による方位測定 *小村 健太郎(防災科学技術研究所)
13:15 S12-02	実験と数値解析を組み合わせた断層における複合面構造の発達過程の解明 *宮本 英 ¹ 、大橋 聖和 ² 、福家 朱莉 ³ 、廣野 哲朗 ¹ (¹ 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻、 ² 山口大学大学院創成科学研究科、 ³ 気象庁)
13:30 S12-03	メートル規模でのガウジ摩擦実験 *山下 太 ¹ 、福山 英一 ² 、下田 晃嘉 ² 、渡辺 俊 ² (¹ 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 京都大学大学院工学研究科)
13:45 S09-01	地震モーメントテンソルを用いた応力場推定について-流れ則との折り合い- *松本 聡(九州大学大学院理学研究科地震火山観測研究センター)
14:00 S09-02	コーダスペクトル比法に基づく2016年熊本地震の余震の震源パラメータ推定とその特徴 *前迫 直人 ¹ 、松本 聡 ² 、光岡 郁穂 ¹ 、2016年熊本地震合同観測グループ(¹ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学研究科附属地震火山観測研究センター)

B会場(オンライン会議室) 午後 S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力 S09. 地震活動とその物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	S12. 小村 健太郎/S09. 松本 聡
13:00 S12-01	大阪平野下基盤における原位置地殻応力-深層地殻活動観測井におけるポアホールブレイクアウト法による方位測定 *小村 健太郎(防災科学技術研究所)
13:15 S12-02	実験と数値解析を組み合わせた断層における複合面構造の発達過程の解明 *宮本 英 ¹ 、大橋 聖和 ² 、福家 朱莉 ³ 、廣野 哲朗 ¹ (¹ 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻、 ² 山口大学大学院創成科学研究科、 ³ 気象庁)
13:30 S12-03	メートル規模でのガウジ摩擦実験 *山下 太 ¹ 、福山 英一 ² 、下田 晃嘉 ² 、渡辺 俊 ² (¹ 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 京都大学大学院工学研究科)
13:45 S09-01	地震モーメントテンソルを用いた応力場推定について-流れ則との折り合い- *松本 聡(九州大学大学院理学研究科地震火山観測研究センター)
14:00 S09-02	コーダスペクトル比法に基づく2016年熊本地震の余震の震源パラメータ推定とその特徴 *前迫 直人 ¹ 、松本 聡 ² 、光岡 郁穂 ¹ 、2016年熊本地震合同観測グループ(¹ 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 ² 九州大学大学院理学研究科附属地震火山観測研究センター)

座長	藤江 剛
13:00 S06-01	千島海溝南部アウターライズ震源断層マッピング *小平 秀一 ¹ 、野 徹雄 ¹ 、藤江 剛 ¹ 、尾鼻 浩一郎 ¹ 、中村 恭之 ¹ 、三浦 誠一 ¹ 、今井 健太郎 ¹ 、馬場 俊孝 ² 、近貞 直孝 ³ 、谷岡 勇市郎 ⁴ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 徳島大学、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 北海道大学)
13:15 S06-02	稠密OBSアレイによる北海道根室沖千島海溝沈み込み帯の地殻構造 *東 龍介 ¹ 、小平 秀一 ² 、日野 亮太 ¹ 、藤江 剛 ² 、尾鼻 浩一郎 ² 、富田 史章 ² 、*太田 雄策 ¹ (¹ 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 海洋研究開発機構)
13:30 S06-03	S-netデータによる東日本前弧域の不均質構造と地震発生機構 *趙 大鵬、Hua Y.、豊国 源知、Yu Z.(東北大学)
13:45 S06-04	日本海と沿岸の震源断層モデル *佐藤 比呂志 ¹ 、石山 達也 ¹ 、野 徹夫 ² 、小平 秀一 ² 、加藤 直子 ¹ 、Claringbould Johan、松原 誠 ³ 、橋間 昭徳 ¹ 、石川 正弘 ⁴ 、佐藤 壯 ⁵ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 横浜国立大学、 ⁵ 気象庁札幌管区気象台)
14:00 S06-05	近畿地方中北部における高解像度の走時トモグラフィ解析 *加藤 慎也 ¹ 、飯尾 能久 ² 、中島 淳一 ³ 、片尾 浩 ² 、澤田 麻沙代 ² 、富阪 和秀 ² (¹ 京都大学理学研究科地球惑星科学専攻、 ² 京都大学防災研究所附属地震予知研究センター、 ³ 東京工業大学大学院地球惑星科学系)

C会場(オンライン会議室) 午後 S06. 地殻構造

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	藤江 剛
13:00 S06-01	千島海溝南部アウターライズ震源断層マッピング *小平 秀一 ¹ 、野 徹雄 ¹ 、藤江 剛 ¹ 、尾鼻 浩一郎 ¹ 、中村 恭之 ¹ 、三浦 誠一 ¹ 、今井 健太郎 ¹ 、馬場 俊孝 ² 、近貞 直孝 ³ 、谷岡 勇市郎 ⁴ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 徳島大学、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 北海道大学)
13:15 S06-02	稠密OBSアレイによる北海道根室沖千島海溝沈み込み帯の地殻構造 *東 龍介 ¹ 、小平 秀一 ² 、日野 亮太 ¹ 、藤江 剛 ² 、尾鼻 浩一郎 ² 、富田 史章 ² 、*太田 雄策 ¹ (¹ 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 海洋研究開発機構)
13:30 S06-03	S-netデータによる東日本前弧域の不均質構造と地震発生機構 *趙 大鵬、Hua Y.、豊国 源知、Yu Z.(東北大学)
13:45 S06-04	日本海と沿岸の震源断層モデル *佐藤 比呂志 ¹ 、石山 達也 ¹ 、野 徹夫 ² 、小平 秀一 ² 、加藤 直子 ¹ 、Claringbould Johan、松原 誠 ³ 、橋間 昭徳 ¹ 、石川 正弘 ⁴ 、佐藤 壯 ⁵ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 横浜国立大学、 ⁵ 気象庁札幌管区気象台)
14:00 S06-05	近畿地方中北部における高解像度の走時トモグラフィ解析 *加藤 慎也 ¹ 、飯尾 能久 ² 、中島 淳一 ³ 、片尾 浩 ² 、澤田 麻沙代 ² 、富阪 和秀 ² (¹ 京都大学理学研究科地球惑星科学専攻、 ² 京都大学防災研究所附属地震予知研究センター、 ³ 東京工業大学大学院地球惑星科学系)

座長	佐藤 大祐、高橋 努
13:00 S01-01	地下構造の不確かさをアンサンブルモデリングにより考慮した断層すべり分布ベイズ推定 *縣 亮一郎 ¹ 、笠原 天人 ¹ 、八木 勇治 ² (¹ 海洋研究開発機構、 ² 筑波大学生命環境系)
13:15 S01-02	フルベイズインバージョンにおける事後分布の適切な縮約と大自由度サンプリングの困難 *佐藤 大祐、深畑 幸俊(京都大学防災研究所)
13:30 S01-03	地震のすべり分布推定における非負の拘束条件がはらむ問題について *深畑 幸俊 ¹ 、八木 勇治 ² (¹ 京都大学防災研究所、 ² 筑波大学生命環境系)
13:45 S01-04	Toward short-period (< 10 s) full waveform tomography in and around the 2011 Tohoku-Oki source area using land-ocean unified 3D initial model *岡元 太郎 ¹ 、竹中 博士 ² 、中村 武史 ³ (¹ 東京工業大学大学院 地球惑星科学系、 ² 岡山大学 大学院自然科学研究科、 ³ 電力中央研究所 地球工学研究所 地震工学領域)
14:00 S01-05	ウェーブレット変換を用いた南海トラフ西部におけるプレート境界面の面粗さの推定 *高橋 努 ¹ 、仲西 理子 ¹ 、小平 秀一 ¹ 、金田 義行 ² (¹ 海洋研究開発機構、 ² 香川大学)

D会場(オンライン会議室) 午後 S01. 地震の理論・解析法

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	澤崎 郁、土井 一生
14:30 S01-06	脈動P波の震源カタログ *西田 究 ¹ 、高木 涼太 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科)
14:45 S01-07	連続地震動記録を用いた余震による最大振幅および閾値超過振幅数の早期予測 *澤崎 郁(防災科学技術研究所)
15:00 S01-08	振幅震源決定法による2017年7月の日田市小野地区における斜面崩壊の震源決定 *土井 一生 ¹ 、前田 拓人 ² 、釜井 俊孝 ¹ 、王 功輝 ¹ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 弘前大学大学院理工学研究科)
15:15 S01-09	広帯域レコードセクションに現れるsP波:東北地方のプレート境界付近の地震についての検討 *小菅 正裕(弘前大学大学院理工学研究科)

A会場(オンライン会議室) 午後 SPA. 学生優秀発表賞(ポスター発表) 審査セッション

審査用講演(講演時間5分・質疑応答5分)

座長	鈴木 亘
16:00 S01P-02	地震波干渉法を用いたマントル不連続面での反射P波の検出に向けて *加藤 翔太、西田 究(東京大学地震研究所)
16:10 S15P-08	2016年熊本地震で観測された長周期速度パルスの生成に関する理論的解析 *垂水 洗太郎、渡邊 禎寅、小松 正直、竹中 博士(岡山大学)
16:20 S15P-15	Comparison of scattering variation associated with 2016 earthquakes in Korea and Japan *QBAL MUHAMMAD、Chung Tae Woong(Sejong University)
16:30 S16P-07	微動探査を用いた地すべり地帯における地盤震動特性の把握 -北海道紋別郡遠軽町生田原の事例- *西村 武 ¹ 、野口 竜也 ² 、小野 祐輔 ² 、河野 勝宣 ² (¹ 鳥取大学大学院 工学研究科 博士後期課程 社会基盤工学専攻、 ² 鳥取大学大学院 工学研究科)

B会場(オンライン会議室) 午後 SPA. 学生優秀発表賞(ポスター発表) 審査セッション

審査用講演(講演時間5分・質疑応答5分)

座長	大谷 真紀子
16:00 S07P-01	広帯域表面波アレイ解析による最古の海洋底下のリソスフェア-アセノスフェア構造 *川野 由貴 ¹ 、一瀬 建日 ¹ 、竹尾 明子 ¹ 、川勝 均 ¹ 、塩原 肇 ¹ 、竹内 希 ¹ 、杉岡 裕子 ² 、Kim YoungHee ³ 、歌田 久司 ¹ 、Lee Sang-Mook ³ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 神戸大学、 ³ Seoul National University)
16:10 S08P-03	MaficなSill・Dikeが交差する南ア金鉱山直下で発生したM5.5地震解明に向けた3次元地震探査データの再解釈 *鈴木 皓一郎 ¹ 、Manzi Musa ² 、小笠原 宏 ¹ 、野田 拓 ¹ 、Linzer Lindsay ³ 、Durrheim Raymond ² 、Liebenberg Bennie ⁴ (¹ 立命館大学院、 ² University of Witwatersrand, School of Geosciences、 ³ SRK(Pty) Ltd、 ⁴ Moab Khotsong mine)
16:20 S08P-08	巨大地震の静的応力変化が火山深部低周波地震の活動変化に与える影響の定量的評価 *及川 元己、麻生 尚文、中島 淳一(東京工業大学理学部地球惑星科学系)
16:30 S08P-11	構造不均質中の2次元地震サイクルシミュレーションが必要となる静的XBIEM核関数の全導出 *大竹 和機 ^{1,2} 、亀 伸樹 ² 、大谷 真紀子 ² (¹ 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 東京大学地震研究所)
16:40 S08P-15	個別要素法を用いた粉体のせん断に伴う間欠的なイベントの発生条件の検証 *大庭 伸一 ¹ 、三井 雄太 ² (¹ 静岡大学総合科学技術研究科、 ² 静岡大学理学部)

C会場(オンライン会議室) 午後 SPA. 学生優秀発表賞(ポスター発表) 審査セッション

審査用講演(講演時間5分・質疑応答5分)

座長	吉田 康宏
16:00 S06P-01	Towards continuous seismic imaging from offshore to land along the Japan trench: effects of offshore structures (sediment layers and lateral heterogeneities) *HyeJeong Kim, Hitoshi Kawakatsu, Takeshi Akuhara(Earthquake Research Institute, The University of Tokyo)
16:10 S06P-04	地震波干渉法により抽出したレイリー波(Scholte waves)のV/Hを用いたS-net浅部構造の推定 *福島 駿、蓬田 清(北海道大学理学院)
16:20 S09P-03	日本海東縁地域の応力場と発生した地震の断層面との関係(2) *田上 綾香 ¹ 、岡田 知己 ¹ 、酒井 慎一 ² 、大園 真子 ^{2,3} 、勝俣 啓 ³ 、小菅 正裕 ⁴ 、山中 佳子 ⁵ 、片尾 浩 ⁶ 、松島 健 ⁷ 、八木原 寛 ⁸ 、中山 貴史 ¹ 、平原 聡 ¹ 、河野 俊夫 ¹ 、堀 啓一郎 ¹ 、松澤 暢 ¹ 、2011年東北地方太平洋沖地震緊急観測グループ(¹ 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 北海道大学大学院理学研究科附属地震火山研究観測センター、 ⁴ 弘前大学理工学研究科、 ⁵ 名古屋大学大学院環境学研究科、 ⁶ 京都大学防災研究所地震予知研究センター、 ⁷ 九州大学大学院理学研究科附属地震火山観測研究センター、 ⁸ 鹿児島大学・南島島弧地震火山観測所)
16:30 S09P-05	2011年東北沖地震後から福島-茨城県境周辺で活発化した地震活動に見られる内陸の繰り返し地震 *池田 里奈 ¹ 、吉田 圭佑 ¹ 、高橋 諒 ² 、松澤 暢 ¹ 、長谷川 昭 ¹ (¹ 東北大学、 ² 気象庁)
16:40 S09P-12	GNSS変位から推定される地下での応力変化と地震活動の季節変動性 *上田 拓、加藤 愛太郎(東京大学地震研究所)

D会場(オンライン会議室) 午後 SPA. 学生優秀発表賞(ポスター発表) 審査セッション

審査用講演(講演時間5分・質疑応答5分)

座長	対馬 弘晃
16:00 S17P-04	満潮位を仮定した徳島県生田大池の津波土砂移動シミュレーション *モメント・テンソル推定 *田中 豊 ¹ 、直井 誠 ¹ 、陳 友晴 ¹ 、山本 和歌 ¹ 、今北 啓一 ¹ 、堤 直史 ¹ 、下田 晃嘉 ¹ 、平松 大樹 ¹ 、川方 裕則 ² 、石田 毅 ¹ 、福山 英一 ¹ 、田中 浩之 ³ 、有馬 雄太郎 ³ 、北村 重浩 ³ 、兵藤 大祐 ³ (¹ 京都大学、 ² 立命館大学、 ³ JOGMEC)
16:10 S17P-09	Kalmanフィルタを用いた津波波高即時把握手法の開発 *海庭水圧計・加速度計記録の同時活用 *水谷 歩、蓬田 清(北海道大学大学院理学院)
16:20 S17P-11	津波データベースを用いた帰帰モデルによる津波浸水予測 *上谷 政人、馬場 俊孝(徳島大学)
16:30 S24P-01	CNNを用いた水圧破砕AE波形のP波初動極性読み取りとモーメント・テンソル推定 *田中 豊 ¹ 、直井 誠 ¹ 、陳 友晴 ¹ 、山本 和歌 ¹ 、今北 啓一 ¹ 、堤 直史 ¹ 、下田 晃嘉 ¹ 、平松 大樹 ¹ 、川方 裕則 ² 、石田 毅 ¹ 、福山 英一 ¹ 、田中 浩之 ³ 、有馬 雄太郎 ³ 、北村 重浩 ³ 、兵藤 大祐 ³ (¹ 京都大学、 ² 立命館大学、 ³ JOGMEC)
16:40 S24P-06	畳み込みニューラルネットワークに基づく地震波画像からの深部低周波微動検出に向けた数値実験 *金子 亮介 ¹ 、長尾 大道 ^{1,2} 、伊藤 伸一 ^{1,2} 、小原 一成 ² 、鶴岡 弘 ² (¹ 東京大学大学院情報理工学系研究科、 ² 東京大学地震研究所)

#は招待講演

10月30日(金) 口頭発表

A会場(オンライン会議室) 午前 S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤震動

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	倉橋 奨、宮澤 理絵
9:00 S15-10	データ同化を導入した地震波逆伝播計算による地震断層すべり分布推定の数値実験 *柴田 勇吾、古村 孝志(京大工学部)
9:15 S15-11	Near-field Observations and Slip Distribution for the 2014 Orkney, South Africa Earthquake *Mori James, Yasutomi Tatsunari(DPRI Kyoto University)
9:30 S15-12	2008 Wenchuan Earthquakeの地盤断層近傍における長周期速度パルスの生成 *倉橋 奨、入倉 孝次郎(愛知工業大学)
9:45 S15-13	プレート間巨大地震の強震動生成域のための距離減衰式 *宮澤 理絵 ¹ 、木内 亮太 ^{2,3} 、瀧澤 一 ⁴ (¹ 京大工学部防災研究所、 ² 京大大学院理学研究科、 ³ (株)構造計画研究所、 ⁴ 京大工学部)
10:00 S15-14	東北日本で発生したスラブ内、プレート境界、アウトライズ地震による北海道での地震動の比較 *寛 康彦(神戸大学・理学研究科)
10:15	休憩
座長	森川 信之、地元 孝輔
10:30 S15-15	強震動データベース試作版に基づく地震動予測式に対する残差データの作成と分析 *森川 信之、岩城 麻子、前田 宜浩、藤原 広行(防災科学技術研究所)
10:45 S15-16	スペクトルインバージョン結果の残差に現れる震源断層破壊伝播の影響 *柴井 一寛 ^{1,2} 、浅野 公之 ³ 、岩田 知孝 ³ (¹ 京大大学院理学研究科、 ² 一般財団法人地域地盤環境研究所、 ³ 京大工学部)
11:00 S15-17	北海道西部の不均質減衰構造を推定したブロックインバージョン解析の残差分析 *友澤 裕介 ¹ 、加藤 研一 ¹ 、野尻 一朗 ² (¹ 小樽工二研究所、 ² 北海道電力)
11:15 S16-01	強震波形記録の自己相関関数による京都盆地、大阪平野での地下速度不連続面の解析とその検証 *福留 脩太、浅野 公之、岩田 知孝(京大工学部)
11:30 S16-02	Imaging the Kanto Basin bedrock with seismic noise and earthquake autocorrelation functions *Loic Viens ¹ , Chengxin Jiang ² , Marine A. Denolle ³ (¹ Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Uji, Japan, ² Research School of Earth Sciences, The Australian National University, Canberra, ACT, Australia, ³ Department of Earth and Planetary Sciences, Harvard University, Cambridge, MA, USA)
11:45 S16-03	高密度リニアアレイ微動記録の相互相関関数による空間速度変化検出の試み *地元 孝輔、山中 浩明(東京工業大学)

A会場(オンライン会議室) 午後 S16. 地盤構造・地盤震動

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	林田 拓己、永野 正行
13:00 S16-04	首都圏に建つ長周期建物の応答評価に資する浅部表層地盤の地震動増幅評価 *永野 正行 ¹ 、鈴木 健太 ¹ 、小口 智弘 ¹ 、先名 重樹 ² (¹ 東京理科大学、 ² 防災科学技術研究所)
13:15 S16-05	遠地震に対する関東堆積盆地のS波応答特性:地震規模と方位角依存性の有無の検討 *中川 結絵 ¹ 、吉本 和生 ¹ 、武村 俊介 ² (¹ 横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科物質システム科学専攻、 ² 東京大学地震研究所)
13:30 S16-06	北海道勇払郡むかわ町および厚真町追分・早来地区における微動観測に基づく地盤構造推定 *松島 信一(京大工学部)
13:45 S16-07	函館平野の深部地盤構造モデルの作成 *浅野 公之 ¹ 、岩田 知孝 ¹ 、吉田 邦一 ² 、井上 直人 ² 、柴井 一寛 ² 、宮澤 研 ² 、大塚 道広 ³ (¹ 京大工学部防災研究所、 ² 一般財団法人地域地盤環境研究所、 ³ 福井大学附属国際原子力工学研究所)
14:00 S16-08	SPAC係数およびCCA係数からのVs30の直接推定 *林田 拓己、横井 俊明((国研)建築研究所 国際地震工学センター)
14:15	休憩
座長	浅野 公之
14:30 S16-09	荒砥沢ダム周辺での臨時観測とそれを用いた震動特性の検討 *熊谷 周治 ¹ 、片岡 俊一 ² 、茂木 秀樹 ³ 、南雲 秀樹 ⁴ 、岡村 航 ⁵ (¹ 東北電力株式会社、 ² 弘前大学、 ³ 埼玉大学、 ⁴ 東電設計株式会社、 ⁵ 株式会社構造計画研究所)
14:45 S16-10	大深度地震観測データを用いた地震波伝播解析 *植竹 富一、引間 和人、新村 明広、藤岡 将利(東京電力ホールディングス株式会社)
15:00 S16-11	孔中地震計の記録に含まれる孔底から地表までの地盤の影響 *野口 科子、澤田 義博((公財)地震予知総合研究振興会)
15:15 S16-12	Data driven estimation of site effects using recurrent neural networks *Mona Izadi ¹ , Shinichi Matsushima ² (¹ Department of Architecture and Architectural Engineering, Graduate School of Engineering, Kyoto University, ² Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University)

B会場(オンライン会議室) 午前 S09. 地震活動とその物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	太田 和晃、竹尾 明子
9:00 S09-07	深部低周波微動活動の経年変化について *小原 一成(京大工学部)
9:15 S09-08	深部超低周波地震CMT解析の完全自動化 *竹尾 明子、小原 一成(京大工学部)
9:30 S09-09	紀伊半島における微動マイグレーションの抽出と評価 *前田 拓也 ¹ 、小原 一成 ¹ 、竹尾 明子 ¹ 、松澤 孝紀 ² (¹ 京大工学部、 ² 防災科学技術研究所)
9:45 S09-10	2011年東北地方太平洋沖地震発生前の日本海溝沿いの低周波微動活動 *高橋 秀樹 ¹ 、日野 亮太 ¹ 、内田 直希 ¹ 、東 龍介 ¹ 、川久保 晋 ¹ 、太田 和晃 ² 、篠原 雅尚 ³ (¹ 東北大学、 ² 防災科学技術研究所、 ³ 京大工学部)
10:00 S09-11	稠密地震観測に基づく四国東部と紀伊水道の微動活動 *太田 和晃、汐見 勝彦、松澤 孝紀(防災科学技術研究所)
10:15	休憩
座長	吉田 圭佑、西川 友章
10:30 S09-12	ニュージーランド・ヒ克蘭ギ海溝における群発地震検出:地震活動とスロースリップの関係への示唆 *西川 友章 ¹ 、西村 卓也 ¹ 、岡田 悠太郎 ² (¹ 京大工学部防災研究所、 ² 京大工学部)
10:45 S09-13	コストリカ沈み込み帯における浅部超低周波地震の検出および低周波微動のエネルギー推定 *馬場 慧 ¹ 、小原 一成 ¹ 、武村 俊介 ¹ 、竹尾 明子 ¹ 、Abers Geoffrey ² (¹ 京大工学部、 ² コーネル大学)
11:00 S09-14	応力蓄積と破壊伝播の時間スケールの競合によるセルオートマトンモデルのイベント長期化とスケールアップ *福田 孔達 ¹ 、波多野 恭弘 ² 、望月 公廣 ¹ (¹ 京大工学部地震研究所、 ² 大阪大学理学部宇宙地球科学専攻)
11:15 S09-15	Detection of Temporal Change in Seismic Attenuation near Earthquake Source during Intense Fluid-Driven Seismicity following 2011 Tohoku-Oki earthquake *吉田 圭佑(東北大学理学部地球物理学専攻・地盤噴火予知研究観測センター)
11:30 S09-16	群発地震の継続期間と震源マイグレーションの拡散係数の関係 *雨澤 勇太、前田 拓人、小菅 正裕(弘前大学大学院理学工学研究科)
11:45 S09-17	西南日本のメガスラスト地震サイクルにおけるクローン応力変化を用いた内陸地震活動シミュレーション *水戸川 司 ¹ 、西村 卓也 ² (¹ 京大工学部理学研究科、 ² 京大工学部)

B会場(オンライン会議室) 午後 S09. 地震活動とその物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	尾島 浩一郎、小木曾 仁
13:00 S09-18	地震波振幅を用いたマスターイベント法: 離阿寒岳で発生した火山性微動への適用 *小木曾 仁 ¹ 、蓮田 清 ² (¹ 気象庁気象研究所、 ² 北海道大学)
13:15 S09-19	2次モーメントによる震源過程の推定 ~ 北茨城いわき地方の地震活動への適用 *横谷 直人 ¹ 、加藤 愛太郎 ¹ 、小原 一成 ¹ 、酒井 慎一 ¹ 、飯高 隆一 ¹ 、武田 哲也 ² (¹ 京大工学部、 ² 防災科学技術研究所)
13:30 S09-20	高精度震源決定による2016年ニュージーランドカウカウ地震におけるプレート境界面と断層形状の関係 *河村 優太 ¹ 、松本 聡 ¹ 、岡田 知己 ² 、松野 弥愛 ² 、飯尾 能久 ³ 、佐藤 将 ² 、Bannister Stephen ⁴ 、Ristau John ⁴ 、Savage Martha ⁵ 、Thurber Clifford ⁶ 、Sibson Richard ⁷ (¹ 九州大学、 ² 東北大学、 ³ 京大工学部、 ⁴ GNS Science、 ⁵ Victoria University of Wellington、 ⁶ University of Wisconsin - Madison、 ⁷ University of Otago)
13:45 S09-21	海底地震観測による日本海溝中部アウトライズ域における正断層地震の震源断層形状 *尾島 浩一郎、高橋 努、山本 揚二郎、中村 恭之、藤江 剛、三浦 誠一、小平 秀一(海洋研究開発機構)
14:00 S09-22	10kHzサンプリングによるP波初動付近の波形相関を用いた前震活動の相対震源決定 *野田 雄貴 ¹ 、飯尾 能久 ² (¹ 京大工学部理学研究科、 ² 京大工学部)
14:15	休憩
座長	青地 秀雄、松原 誠
14:30 S09-23	日本列島における低地殻熱流量域での深い上盤プレート内の地震発生層下限(D90)の特徴 *松原 誠 ¹ 、ヤマトモコ ¹ 、佐藤 比呂志 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 京大工学部)
14:45 S09-24	深発の相似地震における震源パラメータの多様性 *土山 純子、中島 淳一(東京工業大学大学院地球惑星科学系)
15:00 S09-25	小イベントの情報をを用いた地震の発生確率評価手法 *田中 宏樹、梅野 健(京大工学部)
15:15 S09-26	Detection of rate change of induced seismicity using ETAS model *青地 秀雄、モウリ ジュリル、ル・ゲントマ(フランス国地球物理学研究所)

C会場(オンライン会議室) 午前 S06. 地殻構造 S04. テクトニクス S07. 地球及び惑星の内部構造と物性 S10. 活断層・歴史地震

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	利根川 貴志
9:00 S06-10	3D crustal velocity model around the source region of the 2015 Gorkha earthquake, central Nepal *Timsina Chintan ¹ , Mori James ² , Yamada Masumi ² (¹ Graduate school of Science, Kyoto University, ² DPRI, Kyoto University, Japan)
9:15 S06-11	西中央太平洋のOBSアレイで捉えたアンプリム火山の長周期地震波信号 *川野 由貴 ¹ 、一瀬 建日 ¹ 、竹尾 明子 ¹ 、川勝 均 ¹ 、末次 大輔 ² 、塩原 肇 ¹ 、杉岡 裕子 ³ 、伊藤 亜紀 ² 、石原 靖 ² 、田中 聡 ² 、大林 政行 ² 、利根川 貴志 ² 、吉光 淳子 ² (¹ 京大工学部、 ² 海洋研究開発機構、 ³ 神戸大学)
9:30 S06-12	Frequency Dependency of the Peak Energy Ratios for Teleseismic P Waves at the Hi-net Stations *Gugi Aucklandi Ganefianto, Hisashi Nakahara, Takeshi Nishimura(Tohoku University Solid Earth Physics Lab)
9:45 S06-13	Application of Adjoint Waveform Inversion to Hi-net Data in Central Japan Island *標本 浩太、辻 健(九州大学)
10:00 S04-01	3次元の形状を持つプレートの定常沈み込みによる島弧変形の数値シミュレーション:海溝軸の屈曲による効果 *森 祐太郎 ¹ 、深畑 幸俊 ² (¹ 京大工学部理学研究科、 ² 京大工学部)
10:15	休憩
座長	S07.大林 政行/S10.遠田 晋次
10:30 S07-01	千島一本州スラブ海側のマントル不連続面 *大林 政行、吉光 淳子、深尾 良夫(海洋研究開発機構)
10:45 S07-02	西太平洋の古い海洋底下の3次元上部マントルS波速度構造 *一瀬 建日 ¹ 、川勝 均 ¹ 、塩原 肇 ¹ 、竹内 希 ¹ 、杉岡 裕子 ² 、Kim YoungHee ³ 、歌田 久司 ¹ 、Lee Sang-Mook ³ 、吉澤 和範 ⁴ (¹ 京大工学部、 ² 神戸大学、 ³ ソウル大学、 ⁴ 北海道大学大学院理学研究科)
11:00 S10-01	S波反射法地震探査から見た糸魚川-静岡構造線断層帯松本盆地東縁断層北部の浅層地下構造 *木村 治夫 ¹ 、近藤 久雄 ² 、小倉 浩太 ³ 、川崎 悠介 ³ 、吉見 瑠子 ⁴ 、黒澤 英樹 ³ (¹ 一般財団法人 電力中央研究所 地球工学研究所、 ² 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門、 ³ 応用地質株式会社、 ⁴ 東北大学 災害科学国際研究所)
11:15 S10-02	宇宙線ミュオンによる跡津川断層の走向・傾斜角測定 *池田 大輔 ¹ 、武多 昭道 ² 、山崎 勝也 ³ 、小村 健太郎 ⁴ (¹ 神奈川大工、 ² 東大地質研、 ³ 中野大工、 ⁴ 防災科研)
11:30 S10-03	断層条線の特性から探る大地震の破壊伝播方向 *金子 善宏 ¹ 、Kearse Jesse ² (¹ 京大工学部、 ² Victoria University of Wellington)

C会場(オンライン会議室) 午後 S10. 活断層・歴史地震 S08. 地震発生の物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

座長	芦 寿一郎、木村 治夫
13:00 S10-04	様々な史料で記録されている安政江戸地震における余震活動の整理と分析 *馬場 道人(京大工学部)
13:15 S10-05	Temporal variation of the number of felt earthquakes recorded in the Omihachiman Ichida Family Diary: before and after the 1854 Iga-Ueno and 1854 Tokai-Nankai earthquakes (1842-1868) *服部 健太郎 ¹ 、中西 一郎 ¹ 、大島 潤三 ² (¹ 京大工学部理学研究科、 ² 京大工学部)
13:30 S10-06	相模湾東部の活断層の浅部地質構造と海底湧水 *芦 寿一郎 ¹ 、池原 研 ² 、金松 敏也 ³ 、山野 誠 ¹ 、三澤 文慶 ² (¹ 京大工学部、 ² 産業技術総合研究所、 ³ 海洋研究開発機構)
13:45 S10-07	海底堆積物中の全有機炭素の高密度放射性炭素年代を用いた熊野沖南海沈み込み帯の地震履歴推定 *三浦 伊織 ¹ 、芦 寿一郎 ¹ 、奥津 なつみ ² 、宮入 陽介 ³ 、横山 祐典 ³ (¹ 京大工学部大学院地球惑星科学系、 ² 京大工学部自然環境学専攻、 ³ 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ⁴ 京大工学部)
14:00 S10-08	平成28年熊本地震後に日奈久断層北端部で確認された余効すべり *遠田 晋次 ¹ 、鳥井 真之 ² 、小俣 雅志 ³ 、三五 大輔 ⁴ 、石澤 亮史 ¹ (¹ 東北大学災害科学国際研究所、 ² 熊本大学水循環・減災研究教育センター、 ³ 株式会社パソコ、 ⁴ 元株式会社パソコ)
14:15	休憩
座長	麻生 尚文
14:30 S08-01	放射パターンを補正した経験的グリーン関数と従来の経験的グリーン関数を用いた波形インバージョン結果の定量比較 *柴田 律也 ¹ 、及川 元己 ¹ 、麻生 尚文 ¹ 、中島 淳一 ¹ 、井出 哲 ² (¹ 東京工業大学大学院地球惑星科学専攻、 ² 京大工学部理学系研究科地球惑星科学専攻)
14:45 S08-02	2D・3Dソースイメージング法を用いた2018年北海道胆振東部地震の初期破壊過程の推定 *藤本 怜、小松 直直、竹中 博士(岡山大学大学院自然科学研究科)
15:00 S08-03	2017年韓国海項地震の発生メカニズムの考察 *寺川 寿子 ¹ 、Seo Woosok ² 、Kim Kwang-Hee ² 、Ree Jin-Han ³ (¹ 名古屋大学大学院環境学専攻、 ² 釜山大学、 ³ 高麗大学)
15:15 S08-04	高密度地震観測で明らかになった2016年鳥取県中部地震の余震活動の時間変化 *飯尾 能久 ¹ 、松本 聡 ² 、京大工学部地質研 鳥取県中部地震余震観測班(¹ 京大工学部防災研究所、 ² 九州大学大学院理学研究科地質火山観測研究センター)

D会場(オンライン会議室) 午前 S01. 地震の理論・解析法 S23. 観測地震学のフロンティア~稠密地震観測の未来像~

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)
招待講演(講演時間25分・質疑応答5分)

座長	高野 智也、辻 修平
9:00 S01-10	独立成分分析(ICA)によるACROSS伝達関数の時系列変化の分離 *鈴木 里奈、山岡 耕春(名古屋大学大学院環境学研究科)
9:15 S01-11	人工震源装置「アクロス」を用いた振幅変化検出手法の開発と実データへの適用 *辻 修平 ¹ 、山岡 耕春 ¹ 、生田 領野 ² (¹ 名古屋大学環境学研究科、 ² 静岡大学理学部)
9:30 S01-12	DASによる歪記録に対するSPAC的表現の解析的導出 *中原 恒、江本 賢太郎、西村 太志(東北大学大学院理学研究科)
9:45 S01-13	Detection and location methods of volcanic tremors using seismic cross-correlation: application to Sakurajima volcano *Theodoros Permana ¹ , Takeshi Nishimura ¹ , Hisashi Nakahara ¹ , Nikolai Shapiro ² (¹ Tohoku University, Japan, ² Institut des Sciences de la Terre, Grenoble, France)
10:15	休憩
座長	汐見 勝彦
10:30 S23-01	四国東部に沈み込む海山が存在する可能性 *汐見 勝彦(防災科学技術研究所)
10:45 S23-02	Detection of deep low-frequency earthquakes in the Nankai subduction zone over 11 years using a matched filter technique *加藤 愛太郎、中川 茂樹(京大工学部)
11:00 S23-03#	海域観測による新しい地殻活動モニタリングに向けて *高橋 成実 ¹ 、堀 高峰 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 海洋研究開発機構)
11:30 S23-04	S-netを用いた東北日本前弧海域における常時微動トモグラフィー *高木 涼太 ¹ 、西田 究 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² 京大工学部)

D会場(オンライン会議室) 午後 S23. 観測地震学のフロンティア~稠密地震観測の未来像~

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)
招待講演(講演時間25分・質疑応答5分)

座長	高木 涼太
13:00 S23-05#	分散型音響センシング技術を用いた三陸沖光ケーブル観測システムにおける高密度海底地震観測 *篠原 雅尚、山田 知朗、藤原 岳、望月 公廣、酒井 慎一(京大工学部)
13:30 S23-06	吾妻山の浅部地盤増幅特性の推定—光ファイバーとDASの記録の解析— *西村 太志 ¹ 、江本 賢太郎 ¹ 、中原 恒 ¹ 、三浦 哲 ¹ 、山本 希 ¹ 、杉村 俊輔 ¹ 、石川 歩 ¹ 、木村 恒久 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² シュルンベルジェ)
13:45 S23-07	市街地における光ファイバケーブルを用いたDAS観測による高密度データの解析 *江本 賢太郎、中原 恒、西村 太志、山本 希、寒河江 皓大、Ganefianto Gugi、矢武 克彦(東北大学大学院理学研究科)
14:00 S23-08	人工的振動によるDAS記録の特徴 *田中 昌之 ¹ 、小林 昭夫 ¹ 、勝間田 明男 ¹ 、瀧川 功史 ¹ 、木村 恒久 ² 、久保田 俊輔 ³ 、依田 幸英 ⁴ (¹ 気象研究所、 ² シュルンベルジェ、 ³ 有限会社ワイアー技研、 ⁴ 日本電気株式会社)
14:15	休憩
座長	加藤 愛太郎
14:30 S23-09	茨城沖領域に展開された短周期海底地震計の稠密観測網を用いた地震波干渉法による3次元S波速度構造 *山谷 里奈 ¹ 、望月 公廣 ¹ 、藤原 岳 ¹ 、西田 究 ¹ 、市村 強 ¹ 、藤田 航平 ¹ 、山口 拓真 ¹ 、堀 高峰 ² (¹ 京大工学部、 ² 海洋研究開発機構)
14:45 S23-10	茨城沖における高密度震源分布および高密度OBS観測について *米島 慎二、望月 公廣(京大工学部)
15:00 S23-11#	内陸地震発生場解明のための稠密地震観測 —どこまで稠密か? 0.1m地点地震観測と今後— *松本 聡(九州大学大学院理学研究科地質火山観測研究センター)

#は招待講演

ポスター発表 10月30日(金)16:00~17:30 ポスター会場

S01, S04, S06, S07, S09, S10, S12, S15, S23, S24

S01. 地震の理論・解析法	S09. 地震活動とその物理	S15. 強震動・地震災害
S01P-01 地震波干渉法と局所外れ値確率を用いた火山における地震波速度変化および散乱特性変化の異常検知 *廣瀬 郁、上田 英樹、藤田 英輔(防災科学技術研究所)	S09P-01 北海道南部から青森県東部の応力場の時空間変動の要因 *前田 純伶 ¹ 、松澤 暢 ² 、岡田 知己 ² 、片尾 浩 ³ 、吉田 武義 ² 、小菅 正裕 ⁴ 、大坪 誠 ¹ (¹ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、 ² 東北大学 大学院理学研究科・理学部、 ³ 京都大学 防災研究所、 ⁴ 弘前大学 大学院理工学研究科)	S15P-01 全国を対象とした地震による経済被害予測システムの試作 *中村 洋光 ¹ 、藤原 広行 ¹ 、高橋 郁夫 ¹ 、石丸 晴海 ² 、清水 智 ³ 、山崎 雅人 ⁴ (¹ 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 三菱スペース・ソフトウェア株式会社、 ³ 応用アル・エム・エス株式会社、 ⁴ 名古屋大学)
S01P-02 地震波干渉法を用いたマントル不連続面での反射P波の検出に向けて *加藤 翔太、西田 究(東京大学地震研究所)	S09P-02 中国地域の地殻内応力マップの作成と活断層の活動性評価 *今西 和俊、内出 崇彦、椎名 高裕、松下 レイケン、中井 未里(産業技術総合研究所)	S15P-02 速度計(固有周期1秒)を用いた計測震度計算についての検討 *中村 亮一 ¹ 、石瀬 素子 ¹ 、酒井 慎一 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東京大学情報学環)
S01P-03 速度変化のスペクトル解析に基づく地殻浅部における地震波速度変化の潮汐応答推定の試み *高野 智也、西田 究(東京大学地震研究所)	S09P-03 日本海東縁地域の応力場と発生した地震の断層面との関係(2) *田上 綾香 ¹ 、岡田 知己 ¹ 、酒井 慎一 ² 、大園 真子 ^{2,3} 、勝俣 啓 ³ 、小菅 正裕 ⁴ 、山中 佳子 ⁵ 、片尾 浩 ⁶ 、松島 健 ⁷ 、八木原 寛 ⁸ 、中山 貴史 ¹ 、平原 聡 ¹ 、河野 俊夫 ¹ 、堀 修一郎 ¹ 、松澤 暢 ¹ 、2011年東北地方太平洋沖地震緊急観測グループ(¹ 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ⁴ 弘前大学理工学研究科、 ⁵ 名古屋大学大学院環境学研究所、 ⁶ 京都大学防災研究所地震予知研究センター、 ⁷ 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター、 ⁸ 鹿児島大学・南西島弧地震火山観測所)	S15P-03 2019年山形県沖の地震の震源モデルとその特性化 *芝 良昭(電力中央研究所)
S01P-04 指数関数型スペクトルを持つランダム媒質におけるP波走時の揺らぎ - 3次元地震波伝播シミュレーションによる評価 - *吉本 和生 ¹ 、武村 俊介 ² (¹ 横浜市立大学、 ² 東京大学地震研究所)	S09P-04 2016年のカイクウラ地震に関する震源域における応力場の時空間変化 *松野 弥愛 ¹ 、岡田 知己 ¹ 、松本 聡 ² 、河村 優太 ² 、飯尾 能久 ³ 、佐藤 将 ¹ 、中山 貴史 ¹ 、平原 聡 ¹ 、Bannister Stephen ⁴ 、Ristau John ⁴ 、Savage Martha ⁵ 、Thurber Clifford ⁶ 、Sibson Richard ⁷ (¹ 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、 ² 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター、 ³ 京都大学防災研究所、 ⁴ GNS Science, New Zealand、 ⁵ Victoria University of Wellington, Wellington, New Zealand、 ⁶ University of Wisconsin, Madison、 ⁷ University of Otago, Dunedin, New Zealand)	S15P-04 震源断層近傍の長周期パルスと地殻変動を考慮した2016年熊本地震の震源過程 *岩井 創 ¹ 、藤原 広行 ² 、小林 広明 ² (¹ 東京大学大学院地震研究所藤原研究室、 ² 株式会社小堀謙二研究所 地盤地震研究所)
S01P-05 変位成分と歪み成分での合成波形記録の比較:震源放射特性と地表面での入射角依存性 *蓬田 清 ¹ 、伊藤 俊哉 ² (¹ 北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学部門・地球惑星ダイナミクス分野、 ² 北海道大学理学部地球惑星科学科)	S09P-05 2011年東北沖地震後から福島-茨城県境周辺で活発化した地震活動に見られる内陸の繰り返し地震 *池田 里奈 ¹ 、吉田 圭佑 ¹ 、高橋 諒 ² 、松澤 暢 ¹ 、長谷川 昭 ¹ (¹ 東北大学、 ² 気象庁)	S15P-05 2019年リッジレスト地震(M _w 7.0)の震源過程:2016年熊本地震との比較 *小林 広明 ¹ 、元木 健太郎 ¹ 、藤原 広行 ² (¹ 小堀謙二研究所、 ² 東京大学地震研究所)
S01P-06 最短経路法を用いた異方性トモグラフィ手法の開発 *関口 渉次(防災科学技術研究所)	S09P-06 2011年東北沖地震後から福島-茨城県境周辺で活発化した地震活動に見られる内陸の繰り返し地震 *池田 里奈 ¹ 、吉田 圭佑 ¹ 、高橋 諒 ² 、松澤 暢 ¹ 、長谷川 昭 ¹ (¹ 東北大学、 ² 気象庁)	S15P-06 2019年Ridgecrest地震(M _w 7.1)の強震動生成域と地震動シミュレーション *染井 一寛、宮腰 研(一般財団法人地域地盤環境研究所)
S04. テクニクス	S09P-07 相模湾下にみられる地震活動帯の震源再決定と初動メカニズム解析 *東森 直紀 ¹ 、生田 領野 ¹ 、Daniel Nelson ¹ 、石田 瑞穂 ² (¹ 静岡大学、 ² 産業技術総合研究所)	S15P-07 LMGAを考慮した特性化震源モデルによる地表面地震断層近傍における永久変位量の評価 - 逆断層地震の場合 - *松元 康広 ¹ 、宮腰 研 ² 、入倉 孝次郎 ³ (¹ 構造計画研究所、 ² 地域地盤環境研究所、 ³ 愛知工業大学)
S04P-01 S-net観測網を用いた東北日本前弧域の3次元S波速度構造 *片山 悠、趙 大鵬、豊田 源知(東北大学理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)	S09P-08 ETASモデルは前震の夢を見るか?:群発的地震活動に基づく地震予測手法を用いた検証 *弘瀬 冬樹 ¹ 、溜瀧 功史 ¹ 、前田 憲二 ² (¹ 気象研究所、 ² 気象庁)	S15P-08 2016年熊本地震で観測された長周期速度パルスの生成に関する理論的解析 *垂水 洸太郎、渡邊 慎貴、小松 正直、竹中 博士(岡山大学)
S06. 地殻構造	S09P-09 地震発生直前の前震活動 *山名 祐輝、加藤 愛太郎(東京大学地震研究所)	S15P-09 波形フィッティングによる理論グリーン関数の改良手法の適用 *吉田 邦一、郭 雨佳、染井 一寛、宮腰 研(一般財団法人 地域 地盤 環境 研究所)
S06P-01 Towards continuous seismic imaging from offshore to land along the Japan trench: effects of offshore structures (sediment layers and lateral heterogeneities) *HyeJeong Kim、Hitoshi Kawakatsu、Takeshi Akuhara(Earthquake Research Institute, The University of Tokyo)	S09P-10 2005年福岡県西地方沖地震余震域でのb値、メカニズム解分布から推定される応力状態 *千葉 慶太(九州大学)	S15P-10 Seismic intensity simulation of the entire 1923 Kanto earthquake sequence *Hiroe Miyake ¹ 、Satoko Murotani ² 、Kazuki Koketsu ¹ (¹ Earthquake Research Institute, University of Tokyo、 ² National Museum of Nature and Science)
S06P-02 地震探査による山形沖の地殻構造の特徴と日本海東縁の震源断層の関係 *野 徹雄 ¹ 、小平 秀一 ¹ 、佐藤 比呂志 ² 、石山 達也 ² 、佐藤 壮 ³ 、三浦 亮 ¹ 、下村 典生 ⁴ 、白石 和也 ¹ 、藤江 剛 ¹ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 気象庁札幌管区気象台、 ⁴ 日本海洋事業)	S09P-11 Completeness magnitude of earthquakes and b-value in Myanmar Ngun Za lang ^{2,3} 、北 在枝子 ^{1,3} (¹ 国立研究開発法人 建築研究所、 ² Department of Meteorology and Hydrology (DMH)、Ministry of Transport and Communications, Myanmar、 ³ 政策研究大学院大学)	S15P-11 2013年栃木県北部の地震の震源域における震源・サイト・伝播特性に関する検討 *引間 和人(東京電力ホールディングス(株))
S06P-03 S波スプリットング解析による東北地方の地震波速度異方性測定(2) *水田 達也 ¹ 、岡田 知己 ¹ 、Savage Martha ² 、高木 涼太 ¹ 、吉田 圭佑 ¹ 、八木原 寛 ³ 、松島 健 ⁴ 、片尾 浩 ⁵ 、山中 佳子 ⁶ 、小菅 正裕 ⁷ 、勝俣 啓 ⁸ 、大園 真子 ⁹ 、中山 貴史 ¹ 、平原 聡 ¹ 、河野 俊夫 ¹ 、松澤 暢 ¹ 、2011年東北地方太平洋沖地震 緊急観測グループ(¹ 東北大学大学院理学研究科地震噴火予知研究観測センター、 ² Victoria University of Wellington、 ³ 鹿児島大学、 ⁴ 九州大・理、 ⁵ 京大防災研、 ⁶ 名古屋大・環境、 ⁷ 弘前大・理工、 ⁸ 北大・理、 ⁹ 東大地震研、北大・理)	S09P-12 GNSS変位から推定される地下での応力変化と地震活動の季節変動性 *上田 拓、加藤 愛太郎(東京大学地震研究所)	S15P-12 Comparison of PGA, PGV, and acceleration response spectra between the K-NET, KIK-net, and S-net strong-motion sites *Yadab Prasad Dhakal、Takashi Kunugi、Wataru Suzuki、Takeshi Kimura、Nobuyuki Morikawa、Shin Aoi(National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience)
S06P-04 地震波干渉法により抽出したレイリー波 (Schoilte waves)のV/Hを用いたS-net浅部構造の推定 *福島 駿、蓬田 清(北海道大学理学院)	S09P-13 Scaling relations of seismic moment and rupture area for outer-rise earthquake *張 学磊 ¹ 、鬼頭 直 ¹ 、平田 賢治 ² 、土肥 裕史 ² 、藤原 広行 ² (¹ 応用地質株式会社・地震防災事業部、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所・マルチハザードリスク評価研究部門)	S15P-13 基盤面から得られた地震動記録による距離減衰特性のばらつきに関する検討 *西村 利光、宮腰 研(一般財団法人 地域 地盤 環境 研究所)
S06P-05 日向灘・四国沖南海トラフにおける構造調査 *中村 恭之 ¹ 、小平 秀一 ¹ 、藤江 剛 ¹ 、三浦 誠一 ¹ 、海老 由佳 ¹ 、新井 隆太 ¹ 、望月 公廣 ² 、仲田 理映 ² 、木下 正高 ² 、橋本 善孝 ³ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東京大学、 ³ 高知大学)	S15P-14 2005年福岡県西地方沖地震余震域でのb値、メカニズム解分布から推定される応力状態 *千葉 慶太(九州大学)	S15P-14 伝播経路を特定した地震動予測ニューラル・ネットワーク *岡崎 智久 ¹ 、森川 信之 ² 、岩城 麻子 ² 、藤原 広行 ² 、上田 修功 ¹ (¹ 理化学研究所、 ² 防災科学技術研究所)
S06P-06 Azimuthal variation of lithospheric heterogeneity in the northwest Pacific inferred from Po/So propagation characteristics *古村 孝志 ¹ 、ケネット ブライアン ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² オーストラリア国立大学)	S10. 活断層・歴史地震	S15P-15 Comparison of scattering variation associated with 2016 earthquakes in Korea and Japan *IQBAL MUHAMMAD、Chung Tae Woong(Sejong University)
S07. 地球及び惑星の内部構造と物性	S10P-01 歴史地震総表のWEB検索システムの構築 *山中 佳子、宇佐美 龍夫(名古屋大学大学院環境学研究所地震火山研究センター)	S15P-16 Estimation of earthquake ground motions on the ground surface at MeSO-net stations *若井 淳 ¹ 、先名 重樹 ¹ 、清水 惲 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 白山工業(株))
S07P-01 広帯域表面波アレキ解析による最古の海洋底下のリソスフェア-アセノスフェア構造 *川野 由貴 ¹ 、一瀬 建日 ¹ 、竹尾 明子 ¹ 、川勝 均 ¹ 、塩原 肇 ¹ 、竹内 希 ¹ 、杉岡 裕子 ² 、Kim YoungHee ³ 、歌田 久司 ¹ 、Lee Sang-Mook ³ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 神戸大学、 ³ Seoul National University)	S10P-02 大沢家本願寺関係文書に含まれる地震史料 *平井 敬(名古屋大学減災連携研究センター)	S15P-17 長周期地震動振幅の短距離空間較差の簡易的な予測に向けた数値実験による検討 *畑山 健(消防庁消防研究センター)
S07P-02 2次元円環状モデルを用いたスラブ沈み込みに伴う上盤プレート拳動とマントル内の流れに関する数値シミュレーション *土田 真愛、亀山 真典(愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター)	S10P-03 1830年文政京都地震における建物被害の特徴と人的被害の要因 *大邑 潤三(東京大学地震研究所)	S15P-18 SPAC 法の解析可能最大波長とSN比の関係式 *長 郁夫 ¹ 、岩田 貴樹 ² (¹ 産業技術総合研究所、 ² 県立広島大学)
	S10P-04 安政三年十月七日(1856年11月4日)の地震による所沢と久米川の被害はなかった? *原田 智也(なし)	S15P-19 近年の地震における液状化地点情報に基づく液状化危険率推定式の提案 *先名 重樹(防災科学技術研究所)
	S10P-05 被害地帯でない安政五年十二月八日(1859年1月11日)の岩槻の地震 *原田 智也 ¹ 、西山 昭仁 ² (¹ なし、 ² 東京大学史料編纂所)	
	S10P-06 1909年姉川地震の地変と震源について 山村 紀香 ¹ 、*小泉 尚嗣 ² 、中村 衛 ³ (¹ 人と防災未来センター、 ² 滋賀県立大学環境科学部、 ³ 琉球大学理学部)	S23. 観測地震学のフロンティア〜稠密地震観測の未来像〜
	S10P-07 1092年(寛治六年八月三日)の地震津波は気象災害であった可能性 *五島 朋子 ¹ 、中村 亮一 ¹ 、石辺 岳男 ² 、室谷 智子 ³ 、佐竹 健治 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 地震予知総合研究振興会、 ³ 国立科学博物館)	S23P-01 [現代]の地震観測による[過去]の揺れの検証と[未来]の地震動の予測 *石瀬 素子 ¹ 、中村 亮一 ¹ 、原田 智也、酒井 慎一 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東京大学情報学環)
	S10P-08 長崎港で観測された1707年宝永地震の津波の評価 *根本 信(応用地質株式会社)	S23P-02 海底地震観測網を活用した自動震源決定による日本海溝沿いの微小地震活動の特徴 *溜瀧 功史、弘瀬 冬樹(気象研究所)
	S10P-09 1914年桜島地震において帖佐村を襲ったとされる津波についての検討 *小林 励司(鹿児島大学大学院理工学研究科)	S23P-03 S-netデータを用いた日本海溝アウターライズ域の震源決定 *西澤 あずさ ¹ 、植平 賢司 ¹ 、望月 将志 ¹ 、後藤 和彦 ² 、尾鼻 浩一郎 ³ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 地震予知総合研究振興会、 ³ 海洋研究開発機構)
	S10P-10 京都盆地南部巨椋池周辺における反射法地震探査 *岩田 知孝 ¹ 、浅野 公之 ¹ 、吉見 雅行 ² 、山田 浩二 ³ 、澤田 基貴 ³ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 産業技術総合研究所活断層・火山研究部門、 ³ 阪神コンサルタンツ)	S23P-04 稠密海底地震計アレキによる堆積層の構造推定:日向灘の例 *悪原 岳 ¹ 、山下 裕亮 ² 、大柳 修彦 ² 、佐藤 泰典 ² 、山田 知朗 ³ 、篠原 雅尚 ¹ (¹ 東京大学、 ² 京都大学、 ³ 気象庁)
	S10P-11 三重県四日市市垂坂断層 (推定断層)の反射法地震探査 *小松原 琢 ¹ 、秋永 康彦 ² 、澤田 基貴 ² 、末廣 匡基 ² 、寺田 龍矢 ³ (¹ 産業技術総合研究所、 ² 株式会社阪神コンサルタンツ、 ³ 東京大学)	S23P-05 南海トラフ内地震計常時微動記録により得られた地震波速度時間変化と孔内間隙水圧記録の比較 *木村 俊則、荒木 英一郎、利根川 貴志(国立研究開発法人海洋研究開発機構)
	S10P-12 SITES法によるスマトラ断層の断層面推定 *山品 匡史 ¹ 、大久保 慎人 ¹ 、田部井 隆雄 ¹ 、Muksin Umar ² 、Nazli Ismail ² (¹ 高知大学、 ² Syiah Kuala 大学)	S23P-06 防災科研地震観測井岩芯コアの概要 *小村 健太郎(防災科学技術研究所)
	S10P-13 浅部構造を考慮した断層近傍の強震動予測モデルの設定方法の検討 - 2016年熊本地震を例として *乗松 君衣、遠田 晋次(東北大学災害科学国際研究所)	S24. 機械学習による地震学の未来の開拓
	S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力	S24P-01 CNNを用いた水圧破砕AE波形のP波初動極性読み取りとモーメント・テンソル推定 *田中 壘 ¹ 、直井 誠 ¹ 、陳 友晴 ¹ 、山本 和敏 ¹ 、今北 啓一 ¹ 、堤 直史 ¹ 、下田 晃嘉 ¹ 、平松 大樹 ¹ 、川方 裕則 ² 、石田 毅 ¹ 、福山 英一 ¹ 、田中 浩之 ³ 、有馬 雄太郎 ³ 、北村 重浩 ³ 、兵藤 大祐 ³ (¹ 京都大学、 ² 立命館大学、 ³ JOGMEC)
	S12P-01 断層摩擦発熱指標としての炭質物の熱熱成反応1:速度論的影響の実験的評価 *山下 修平、廣野 哲朗(大阪大学)	S24P-02 連続波形記録の教師なし自動分類:不均衡データに対応するための異常検知処理の導入 *小寺 祐貴 ¹ 、酒井 慎一 ² (¹ 気象庁気象研究所、 ² 東京大学地震研究所)
	S12P-02 断層摩擦発熱指標としての炭質物の熱熱成反応2:含水状態での反応性の実験的評価 *岩垣 恵太、廣野 哲朗(大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻)	S24P-03 曇り込みニューラルネットワークによるノイズ除去と地震検知 *下條 賢悟 ¹ 、工藤 祥太 ¹ 、岩崎 友理子 ¹ 、溜瀧 功史 ² (¹ 気象庁、 ² 気象研究所)
	S12P-03 断層摩擦発熱指標としての炭質物の熱熱成反応3:繰り返し地震イベントの影響の実験的評価 *鳥村 優太郎、廣野 哲朗(大阪大学)	S24P-04 高ノイズ環境下における機械学習を用いた地震動検出の試み:市民参加型地震計ネットワークの構築に向けて *金 亜伊 ¹ 、上松 大輝 ¹ 、中村 勇士 ¹ 、高橋 佑汰 ² 、中村 桃子 ² (¹ 横浜市立大学、 ² 専修大学)
	S12P-04 透過弾性波を用いたガウシ層を含む断層内部状態の観察 *永田 広平 ¹ 、中谷 正生 ² 、吉田 真吾 ² (¹ 気象庁気象研究所、 ² 東京大学地震研究所)	S24P-05 理論地震波形記録の時空間伝播を教師データとした機械学習による震源決定の試み *杉山 大祐、坪井 誠司(海洋研究開発機構)
		S24P-06 曇り込みニューラルネットワークに基づく地震波形画像からの深部低周波微動検出に向けた数値実験 *金子 亮介 ¹ 、長尾 大道 ^{1,2} 、伊藤 伸一 ^{1,2} 、小原 一成 ² 、鶴岡 弘 ² (¹ 東京大学大学院情報理工学系研究科、 ² 東京大学地震研究所)
		S24P-07 Machine learning models for aftershock forecasting: Application to the 2016 Kumamoto earthquake sequence *Hanyuan Huang、Hiroe Miyake(Earthquake Research Institute, University of Tokyo)

10月31日(土) 口頭発表

A会場 (オンライン会議室) 午前 S24. 機械学習による地震学の未来の開拓 S17. 津波 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	B会場 (オンライン会議室) 午前 S02. 地震計測・処理システム S19. 地震一般・その他 S18. 地震教育・地震学史 S03. 地殻変動・GNSS・重力 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	C会場 (オンライン会議室) 午前 S08. 地震発生の物理 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	D会場 (オンライン会議室) 午前 S14. 地震予知・予測 S22. 琉球弧のジオダイナミクス 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 招待講演 (講演時間25分・質疑応答5分)
座長 内出 崇彦、久保 久彦、小寺 祐貴	座長 S02.岩瀬 良一/S19.S18.室谷 智子	座長 北 佐枝子、武村 俊介	座長 熊澤 貴雄、庄 建倉
9:00 S24-01 F-netモーメントテンソル解カタログの教師なし機械学習による地震活動の地域特性の考察 *久保 久彦、木村 武志、汐見 勝彦(防災科学技術研究所)	9:00 S02-01 Low-SNR Microseismic Detection Using Direct P-Wave Arrival Polarization *椋平 祐輔 ¹ 、Oleg Poliannikov ² 、Michael Fehler ² 、森谷 祐一 ³ (¹ 東北大学 流体科学研究所、 ² Earth Resources Laboratory, Department of Earth, Atmospheric and Planetary Sciences, Massachusetts Institute of Technology、 ³ 東北大学工学研究科)	9:00 S08-05 島根東部の深部低周波地震の臨時観測 *麻生 尚文、寺井 望(東京工業大学)	9:00 S14-01 東北地方太平洋沖超巨大地震の発生確率について *井元 政二郎、森川 信之、藤原 広行(防災科学技術研究所)
9:15 S24-02 深層学習を利用したリアルタイム震度の空間補間と即時予測 大武 亮太 ^{1,2} 、栗間 淳 ² 、後藤 浩之 ² 、澤田 純男 ² (¹ オリエンタルコンサルタンツグローバル、 ² 京都大学)	9:15 S02-02 相模湾初島沖旧深海底観測ステーション・アナログハイドロフォンデータの再生とデジタル化 *岩瀬 良一(海洋研究開発機構)	9:15 S08-06 地殻熱流量データに基づく沈み込み帯温度構造の不確かさの推定 *森重 学 ¹ 、桑谷 立 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 海洋研究開発機構)	9:15 S14-02 Foreshocks and earthquake hazard assessment in Japan mainland. *Hong Peng, James Jiro Mori(Kyoto University)
9:30 S24-03 2020年7月30日鳥島沖の緊急地震速報の誤報の原因とその対策 *山田 真澄(京大防災研究所)	9:30 S02-03 WINフォーマットにおけるチャンネル番号の拡張 *植平 賢司、中川 茂樹 ² 、鶴岡 弘 ² 、ト部 卓 ³ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 東京大学地震研究所、 ³ テレメトラ)	9:30 S08-07 発震機構解と地殻変動から示唆される西南日本における周期性応力場変化 *今西 和俊 ¹ 、野田 朱美 ² (¹ 産業技術総合研究所、 ² 気象研究所)	9:30 S14-03 群発地震の予測可能性と2020年長野県中部群発地震の考察 *熊澤 貴雄 ¹ 、尾形 良彦 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 統計数理研究所)
9:45 S24-04 S-netを用いた畳み込みニューラルネットによる三陸沖低周波微動検出の試み *矢野 恵佑 ¹ 、高橋 秀暢 ² 、立岩 和也 ² 、加納 将行 ² (¹ 統計数理研究所、 ² 東北大学)	9:45 S19-01 日本の被害地震波形記録の数値化・画像化データベース *室谷 智子 ¹ 、佐竹 健治 ² 、鶴岡 弘 ² 、三宅 弘恵 ² 、佐藤 俊明 ³ 、橋本 徹夫 ⁴ 、金森 博雄 ⁵ (¹ 国立科学博物館、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 大崎総合研究所、 ⁴ 防災科学技術研究所、 ⁵ カリフォルニア工科大学)	9:45 S08-08 Ocean slab seismicity and stress state affected by episodic slow slip near a subduction-zone megathrust *北 佐枝子 ¹ 、Houston Heidi ² 、田中 佐千子 ³ 、浅野 陽一 ³ 、造谷 拓朗 ⁴ 、須田 直樹 ⁵ (¹ 国立研究開発法人 建築研究所、 ² 南カリフォルニア大学、 ³ 国立研究開発法人 防災科学技術研究所、 ⁴ 京都大学 防災研究所、 ⁵ 広島大学 理学研究科)	9:45 S14-04 震源機構を組み込んだETASモデル *庄 建倉 ^{1,2} 、蒔田 惠理 ² (¹ 情報・システム研究機構統計数理研究所、 ² 総合研究大学院大学統計科学専攻)
10:00 S24-05 理論地震波形記録の時空間伝搬を教師データとした3DCNNによる箱根火山地域の震源決定 *杉山 大祐 ¹ 、坪井 誠司 ¹ 、行竹 洋平 ² (¹ 海洋研究開発機構、 ² 神奈川県温泉地学研究所)	10:00 S18-01 中学生の数値避難シミュレーション実施による防災意識向上効果 *武市 彰太 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ 、中山 直之 ² (¹ 徳島大学大学院、 ² 徳島市津田中学校)	10:00 S08-09 紀伊半島南東沖で発生する浅部低周波微動のエンベロープインバージョンの試み *武村 俊介 ¹ 、矢部 優 ² 、江本 賢太郎 ³ 、馬場 慧 ¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 産業技術総合研究所、 ³ 東北大学)	10:15 休憩
10:15 休憩	10:15 休憩	10:15 休憩	10:15 休憩
座長 齊藤 竜彦、水谷 歩	座長 日置 幸介、三井 雄太	座長 安藤 亮輔、有吉 慶介	座長 小平 秀一
10:30 S17-01 津波地震の即時規模推定 *勝間田 明男、田中 昌之、西宮 隆仁(気象庁気象研究所)	10:30 S03-01 GNSS変位速度場から推定したネパール・ヒマラヤ主要断層帯の地震間プレートカップリング *田部井 隆雄 ¹ 、大園 真子 ² 、Silwal Bishow ³ 、Bhandari Rajendra ³ 、Chand Janak ³ 、Sapkota Soma ³ 、三宅 弘恵 ⁴ 、頼藤 一起 ⁴ (¹ 高知大学理工学部、 ² 北海道大学理学研究科、 ³ ネパール鉱山地質局、 ⁴ 東京大学地震研究所)	10:30 S08-10 孔内観測およびDONETから捉えられた2020年3月のスロースリップイベントの特徴 *有吉 慶介 ¹ 、飯沼 卓史 ¹ 、中野 優 ¹ 、木村 俊則 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ 、町田 祐弥 ¹ 、末木 健太郎 ¹ 、矢田 修一郎 ¹ 、西山 岳洋 ¹ 、鈴木 健介 ² 、堀 高峰 ¹ 、高橋 成実 ^{1,3} 、小平 秀一 ¹ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 気象庁仙台管区気象台、 ³ 防災科学技術研究所)	10:30 S22-01 Overview of scientific drilling active backarc basin, Okinawa Trough: ongoing rifting of Eurasian continental margin *大坪 誠(産業技術総合研究所活断層・火山研究部門)
10:45 S17-02 Tsunami Data Assimilation of S-net Pressure Gauge Records *王 宇農、佐竹 健治(東京大学地震研究所)	10:45 S03-02 PTS解析による2011年東北地方太平洋沖地震の時すべりから初期余効すべりまでの連続的な推定 *田中 優介 ¹ 、太田 雄策 ¹ 、宮崎 真一 ² (¹ 東北大学、 ² 京都大学)	10:45 S08-11 滑り速度に依存する水圧モデルにおける遅い振動と周期倍加分岐 *波多野 恭弘、水嶋 遼(大阪大学宇宙地球科学専攻)	10:45 S22-02 Vs structure of the shallow crust beneath ocean-bottom seismometers: south and north Okinawa trough *Kuo Ban-Yuan ¹ 、Jian Pei-Ru ¹ 、Patty Lin Pei-Ying ² 、Lin Ching-Ren ¹ 、Ishihara Yasushi ³ 、Kodaira Shuichi ³ 、Nakamura Mamoru ⁴ 、Wang Chau-Chang ⁵ (¹ Institute of Earth Sciences, Academia Sinica、 ² National Taiwan Normal University、 ³ JAMSTEC、 ⁴ University of the Ryukyus、 ⁵ NARLabs)
11:00 S17-03 台風接近時の海底津波計データの周波数特性についてー近地津波との比較 *松本 浩幸 ¹ 、柄本 邦明 ^{1,2} 、今井 健太郎 ¹ 、高橋 成実 ^{1,3} (¹ 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 和歌山県、 ³ 国立研究開発法人防災科学技術研究所)	11:00 S03-03 Trans-dimensionインバージョン手法による沈み込み帯における固着すべり分布推定 *富田 史章、飯沼 卓史、藤 亮一郎、堀 高峰(海洋研究開発機構)	11:00 S08-12 Modes of deep slow earthquakes and temperature dependence of brittle-ductile mixed rheology *安藤 亮輔(東京大学理学系研究科)	11:00 S22-03 Ambient noise tomography for northern Okinawa trough OBS array *Lin Ting-Chun ¹ 、Chen Kai-Xun ^{1,2} 、Gung Yuancheng ¹ 、Kuo Ban-Yuan ² 、Ishihara Yasushi ³ 、Kodaira Shuichi ³ 、Nakamura Mamoru ⁴ 、Patty Lin Pei-Ying ⁵ 、Lin Ching-Ren ² 、Wang Chau-Chang ⁶ (¹ National Taiwan University, Department of Geosciences、 ² Academia Sinica、 ³ JAMSTEC、 ⁴ University of the Ryukyus、 ⁵ National Taiwan Normal University、 ⁶ National Applied Research Laboratories)
11:15 S17-04 S-net沖合海底圧力観測網が記録した2020年7月1日に発生した気象津波 *久保田 達矢、齊藤 竜彦、近真 直孝、三反畑 修(防災科学技術研究所)	11:15 S03-04 トング海溝における大きなスラブ内地震間のスローイベント *三井 雄太 ¹ 、村松 雛子 ² 、田中 優作 ³ (¹ 静岡大学理学部、 ² 元・静岡大学理学部、 ³ 東京大学地震研究所)	11:15 S08-13 深部長期的スロースリップと長期固着域を含む南海トラフ地震サイクルシミュレーション: 離散セルモデル *平原 和朗 ^{1,2} (¹ 香川大学、 ² 理化学研究所)	11:15 S22-04# GNSS観測によって明らかになった琉球列島の現在の地殻変動とスロースリップイベント *西村 卓也 ¹ 、宮崎 真一 ² 、松島 健 ³ (¹ 京都大学防災研究所、 ² 京都大学大学院理学研究科、 ³ 九州大学大学院理学研究科)
11:30 S17-05 海面の気圧変化による津波の発生: 沖合水圧観測のための3次元モデル *齊藤 竜彦 ¹ 、久保田 達矢 ¹ 、近真 直孝 ¹ 、田中 裕介 ² 、三反畑 修 ¹ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 海洋研究開発機構)	11:30 S03-05 集中豪雨に伴う地殻変動 *日置 幸介 ¹ 、Arief Syachrul ¹ 、占 偉 ² (¹ 北海道大学理学研究科、 ² 中国地震局)	11:30 S08-14 地震アスペリティの階層モデル *深尾 良夫(海洋研究開発機構)	
	11:45 S03-06 Duration of Transient Deformation in Northeast Japan as Observed by Geodetic Data from 1890 to 2010 *Meneses-Gutierrez Angela ^{1,2} 、Segall Paul ³ 、Sagiya Takeshi ^{2,4} (¹ Institute for Advanced Research, Nagoya University、 ² Disaster Mitigation Research Center, Nagoya University、 ³ Stanford University、 ⁴ Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University)		
A会場 (オンライン会議室) 午後 S17. 津波 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	B会場 (オンライン会議室) 午後 S03. 地殻変動・GNSS・重力 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	C会場 (オンライン会議室) 午後 S08. 地震発生の物理 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	D会場 (オンライン会議室) 午後 S22. 琉球弧のジオダイナミクス 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 招待講演 (講演時間25分・質疑応答5分)
座長 山中 悠資、三反畑 修	座長 飯沼 卓史、生田 領野	座長 平野 史朗、鈴木 岳人	座長 中村 衛
13:00 S17-06 1933年昭和三陸地震の震源再考 *浜田 信生(無し)	13:00 S03-07 陸域GEONETによる北海道根室沖のプレート間固着推定の限界と新設GNSS-A観測点による推定範囲の検討 *青田 裕樹 ¹ 、大園 真子 ^{1,2} 、高橋 浩見 ¹ 、太田 雄策 ³ (¹ 北海道大学大学院理学部、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 東北大学大学院理学研究科)	13:00 S08-15 非平面断層の動的破壊シミュレーション: 間隙水圧、応力方位、断層の屈曲角度等の諸パラメータとISO成分の関係について *栗原 悠宇希 ¹ 、野田 博之 ² (¹ 京大大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所)	13:00 S22-05 南西諸島海溝北部の準定常海底地震観測網により検出された相似地震の発生間隔と空間分布 *仲谷 幸浩 ¹ 、八木原 寛 ¹ 、平野 舟一郎 ¹ 、中尾 茂 ¹ 、宮町 宏樹 ² 、小林 昴司 ² 、山下 裕亮 ³ 、清水 洋 ⁴ 、松島 健 ⁴ 、内田 和也 ⁴ 、中東 和夫 ⁵ 、阿部 英二 ⁷ 、山田 知朗 ⁶ 、篠原 雅尚 ⁷ (¹ 鹿児島大学附属南西島弧地震火山観測所、 ² 鹿児島大学大学院理工学研究所、 ³ 京都大学防災研究所、 ⁴ 九州大学附属地震火山観測研究センター、 ⁵ 東京海洋大学、 ⁶ 気象庁、 ⁷ 東京大学地震研究所)
13:15 S17-07 海域調査から作成された断層モデルを用いた1933年昭和三陸地震津波のフォワード計算 *馬場 俊孝 ¹ 、近真 直孝 ² 、中村 恭之 ³ 、藤江 剛 ³ 、尾鼻 浩一郎 ³ 、三浦 誠一 ³ 、小平 秀一 ³ (¹ 徳島大学大学院社会産業理工学研究所、 ² 防災科学技術研究所、 ³ 海洋研究開発機構)	13:15 S03-08 A decade of GNSS/Acoustic measurements on the back-arc spreading in the southwestern end of the Okinawa Trough *Ikuta Ryoya ¹ 、Chen Horng-Yue ² 、Takemoto Kiyomichi ³ 、Kohmi Takeru ¹ 、Ando Masataka ¹ (¹ Shizuoka Univ.、 ² Academia Sinica、 ³ Nagoya Univ.)	13:15 S08-16 2種類の滑り端伝播と線形臨界定性解析によるその伝播速度の解析 *鈴木 岳人(青山学院大学)	13:15 S22-06 Surface wave imaging of the lithosphere and asthenosphere system beneath north Okinawa Trough from NOT OBS array *Patty Lin Pei-Ying ¹ 、Yeh Hsiu-Cheng ¹ 、Lin Chih-Ming ¹ 、Kuo Ban-Yuan ² 、Hung Shu-Huei ³ 、Gung Yuancheng ³ 、Tan Eh ² 、Chen Kate Huihsuan ¹ 、Wang Chau-Chang ^{4,5} 、Lin Ching-Ren ² 、Kodaira Shuichi ⁶ 、Ishihara Yasushi ⁶ 、Nakamura Mamoru ⁷ (¹ Department of Earth Sciences, National Taiwan Normal University、 ² Academia Sinica、 ³ National Taiwan University、 ⁴ National Applied Research Laboratories、 ⁵ National Sun Yat-sen University、 ⁶ JAMSTEC、 ⁷ University of the Ryukyus)
13:30 S17-08 日本海西部域の固有振動特性と1833年庄内沖地震津波の増幅特性に関する研究 *山中 悠資 ¹ 、島津 希来 ² 、下園 武範 ¹ 、楢垣 敬真 ³ (¹ 東京大学、 ² 中日本高速道路株式会社、 ³ 東日本旅客鉄道株式会社)	13:30 S03-09 ウェブライダーを用いたGNSS-音響測距結合方式の海底地殻変動観測(その2) *飯沼 卓史 ¹ 、木戸 元之 ^{2,3} 、福田 達也 ¹ 、太田 雄策 ^{3,2} 、富田 史章 ¹ 、日野 亮太 ^{3,2} (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 東北大学大学院理学研究科)	13:30 S08-17 距離弱化学摩摺則を伴う動的自己相似亀裂の解析解 *平野 史朗 ¹ 、伊藤 弘道 ² (¹ 立命館大学、 ² 東京理科大学)	13:30 S22-07 Upper mantle P-wave velocity structure beneath the northern Ryukyu subduction zone from multiscale finite-frequency traveltome tomography *Hung Shu-Huei ¹ 、Kuo Ban-Yuan ² 、Patty Lin Pei-Ying ¹ 、Gung Yuancheng ¹ 、Tan Eh ² 、Chen Huihsuan ³ 、Wang Chau-Chang ⁴ 、Kodaira Shuichi ⁵ 、Ishihara Yasushi ⁵ 、Nakamura Mamoru ⁶ 、Lin Ching-Ren ² (¹ Department of Earth Sciences, National Taiwan University、 ² Academia Sinica、 ³ National Taiwan Normal University、 ⁴ National Applied Research Laboratories、 ⁵ JAMSTEC、 ⁶ University of the Ryukyus)
13:45 S17-09 津波の非線形インバージョン グリッドサーチによるすべり量分布の推定 その1 *南 雅晃(気象庁気象研究所)	13:45 S03-10 GARPOSを用いたGNSS-A海底地殻変動観測時の音速度場の評価 *横田 裕輔 ¹ 、石川 直史 ² 、渡邊 俊一 ² 、中村 優斗 ² (¹ 東京大学生産技術研究所、 ² 海上保安庁海洋情報部)	13:45 S08-18 不均質断層破壊過程に基づく大地震の破壊エネルギーの推定 *ブリード ネルソン(防災科学技術研究所)	13:45 S22-08# Active and passive seismic investigations in the Ryukyu Trench and the Okinawa Trough: A review of 7-year achievements by JAMSTEC *新井 隆太 ¹ 、小平 秀一 ¹ 、高橋 努 ¹ 、仲西 理子 ¹ 、山本 揚二郎 ¹ 、海宝 由佳 ¹ 、石原 靖 ¹ 、三浦 誠一 ¹ 、金田 義行 ^{1,2} (¹ 海洋研究開発機構、 ² 香川大学)

